

---

# 誹謗中傷とスルーという言葉は世の中から滅すべきだと

シー様（借りの返せない雄）

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

誹謗中傷とスルーという言葉は世の中から滅すべきだと

### 【コード】

N5285P

### 【作者名】

シー様（借りの返せない雄）

### 【あらすじ】

誹謗中傷とスルーという言葉は世の中から滅すべきだと思う理由

誹謗中傷とスルーという言葉を人は何気なく使用してるが、使われた人の気持ちを恐らく全く理解できてない。

人は自分が間違った行動を人前で堂々とするものなんて思わない生き物なのね。

だからこそ、皆が思う、「これは中傷だ!」「スルーしよう!」  
って思うリアクションしたとき、それを受けた相手は、物凄く傷付くんだ。

受ける側は悪意を持って発言している訳じゃない。自分に信じるものがあって発言してるだけなの、

そうは言っても、皆は、間違った側に立った事はそうそう無いだろうから、傷付くという意味も判らないだろう。

仕方ないことである。

だから、視点を変えて考えてみてくれ。

なぜ、ケンカや争いは起こると思う?

それはケンカをする者達が、「自分はケンカなんて子供じみた真似はしない」と信じているからに他ならない。

信じるというのは人辺に「言」と書かれるが、人が言うという意味を持つ。

人が何かを話し喋るといふ事は、人の言葉を聞けない状況に居る。  
つまり、何かを信じると言ふ事は、信じている間は人の言葉に聞く耳が持てないといふ事なんだ。

ここにこそ、人と人とが感情のすれ違いが起きる。

小説の感想についてサンプルを例にとってみると

作者の自慰を見せつけられて不快だった

某所のヲチスレから誘導されて見てみたけどこれは無い

自分勝手過ぎ

この感想を受け取った人は、理由がなんであれ傷付く。

なぜ、こんな感想を書けるのか書いた人の思考が気になるかもしれない。

だが、同時に、この感想を書いた人は悪気はない。

その人もまた自分を信じている訳で、「ケンカや争いなんて子供じみた真似はしない」と信じているからである。

ここまで書いて納得できない人も居ると思うので、参考資料を提示しておく。そこでどう感じるか自分なりに考えてみると、なんかの教訓になるかと思う。将来役に立つかまでは判らん

<http://novel1.com.syosetu.com/impression/list/ncode/116632/>

<http://fblog.jp/miyabi/archives/2010-05?p=6>

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5285p/>

---

誹謗中傷とスルーという言葉は世の中から滅すべきだと

2010年12月16日17時20分発行